

【事務事業調査】

事務事業名	上高根沢ふれあいセンター管理運営補助			予算科目	会計-款-項-目-事業
				コード	001-10-04-01-002-01-020
担当部課	教育部 生涯学習課	担当	施設管理係	事業の分類	既存事業
		係長	伴紀男		

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H22 事後評価 地域住民によって、周辺の草刈などの環境整備がなされており、また、グランドゴルフ大会や上高ふれあい祭りの開催など、地域住民のコミュニケーションを図るうえで重要な役割を果たしています。(会議9回・奉仕作業1回・ふれあい祭り1回・グランドゴルフ大会1回・手芸クラブ作品展実施1回)	◆すべて上高根沢地区の住民が運営することで、地域住民が主役の町づくり・地域づくりにつながります。◆ふれあいセンターを活動の拠点とすることで、併設している図書館の利用者が増えます。また、同じ敷地内にあるのびのび保育園との交流につながります。
	H24 事前評価 ◆上高根沢ふれあいセンターの円滑な運営のために、財政的な支援を行うものです。 ◆上高根沢ふれあいセンターは、上高根沢地区の世代間を超えた交流の場と生涯学習の拠点として、上高根沢ふれあいセンター運営委員会の組織が中心となり独自に活動しています。 ◆運営委員は、地域住民の中から選出し、執行部、専門部(文化部、交流部、福祉部)に分れ、各部の事業を企画し、積極的に実施しています。	
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
地域交流行事の開催回数	6回		◆文化部・・・文化祭の実施 ◆交流部・・・収穫祭の実施、高齢者輪投げ大会の実施 ◆福祉部・・・奉仕作業実施、グランドゴルフ大会実施、すいとん会実施 総会、役員会の実施 ◆

■事業費(計画)

【単位:千円】

細節	金額	積算根拠
1 補助金	80	◆平成11年度から同額 ◆運営補助
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	80	

■事業費(実績)

【単位:円】

細節	金額	特記事項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

■事業経費

		計画 【千円】	実績 【円】	特記事項
予算	当初予算額	80		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決算	決算額			
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	80		

■補助金等名：上高根沢ふれあいセンター管理運営補助金

■補助事業者等：上高根沢ふれあいセンター管理運営委員会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	3	事業の趣旨に「上高根沢ふれあいセンターの適正な活用と住民の交流を通して文化及福祉の向上を図る」と掲げているので、上高根沢地区の住民を対象としていますので、町全体への波及効果は期待できません。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	3	住民自身の手で、運営している団体なので、その地区で、目的を持って、今後の運営等について検討もなされていて、住民主役の運用がなされています。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	3	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	既存団体等とうまく共存しています。地区住民のサービス受益機会の均等には配慮されています。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	3	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	4	事業報告により事業効果等が明確で具体的に明記されています。事業経費の約8割を上高根沢地区世帯から徴収し、運営していますので、予算的にも適正に運用しています。
		■予算の見積が適正である。	3	
5	適格性	■実施体制が明確である。	5	上高根沢ふれあいセンター運営委員会規約で、実施体制、自主性等については明確です。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	5	
合計点数		35		
総合評価		継続		